Caligrafía Japonesa España

開会式であいさつをする荒船会長

日本

公益財団法人 全国書美術振興会 会 報

第 31 号

平成25年12月9日発行 発行者 (公財)全国書美術振興会 編集責任者 坂 本 敏 東京都港区赤坂 2-11-1 宮原ビル6階

03-3568-2071 雷 話 03-3568-2072 F A Xホームページ http://shobi.or.jp/

題字は福島慎太郎初代理事長

の 書展」 スペイン展 開 催

会場風景

1月13日、スペイン国立図書館「日本の書展」スペイン展が

いうことで、2013年から20 スペインに到ったのがその翌年と たのが1613年10月28日で、 バウティスタ号で石巻を出港し 長遣欧使節団がサン・ファン・ として開催。支倉常長率いる慶 14年を日本とスペインの40 年の交流年としている。

9年ぶりの海外展となる。 超える展覧会を開催してきたが、 としてはこれまで海外で70回を で盛大に開会式を迎えた。当会

流400周年の記念事業の一つ

スペイン展は日本スペイン交

名が出席した。 佐藤悟駐スペイン日 ス・アランブロ スペ からはアナ・サント 員が出席。スペイン 理事と高木厚人評議 講師として有岡郊崖 彦会長や席上揮毫の 本国大使ら約200 イン国立図書館長、 当会からは荒船清

る書の最高の作品が 日本の伝統芸術であ 深いつながりがある。 文化への関心も高く、 収蔵しており、日本 館は日本の浮世絵を 図書館長が「当図書 ここに展示できたこ 開会式はサントス

> 大大天 库 術の結晶で

書は伝統芸 進行した。 と歓迎の挨 スペイン語 荒船会長は 長の司会で 拶をし、館 喜びです」 とは大きな で「日本の

覧会がマドリードで開催された 書の大家による最高レベルの展 スペースで開催できた。日本と 使が「本展覧会は日本スペイン 即興音楽のようでもある書芸術 の緩急やリズミカルな動きから 文学的、美術的、 書家が、さまざまな表現様式で まっている中、日本を代表する スペインの関係強化の機運が高 式高い図書館の素晴らしい展示 行事であり、スペインで最も格 交流400周年を記念する重要 きたい」と挨拶。続いて佐藤大 もご覧になって楽しんでいただ を、有岡先生、高木先生の揮毫 制作した91点で構成されている。 の展覧会は日本の代表的な現代 さらには運筆 あり、今回

ことは誠に意義深い」と挨拶し、

を学ぶ語学生30名に書の体験を 同様の作品揮毫のほか、日本語 あげていた。デモンストレーショ は最後まで引き込まれ、歓声を 流麗な運筆や力強い表現に観客 介、スペインの大芸術家、ピカ 体およびかなの多様な表現の紹 なのそれぞれの作品揮毫、六書 席上揮毫が行われた。漢字、か は興味深く見入っていた。 介が展示され、スペインの方々 半切の軸作品と、書道用品の紹 いただいている。会場にはほぼ ンは州立語学学校でも行われた。 ソの同一名言を両氏が書くなど、 内覧後有岡、高木両氏による



両先生指導のもと体験した語学生のみなさん

スペイン展は国立図書館終了 サラマンカ大学、アリカ

嘱される先生方の91名にご出品

代書壇巨匠・現代書壇代表に委

テ大学と巡回し、平成26年10

本展には「日本の書展」で現

内覧会に移った。

高木厚人評議員

有岡郯崖理事

41H 本 の

今展の会場を見て「書は言葉で

経新聞社竹田徹事業局長からは、

第

開催した。 らスタートした「公募臨書」についても、展示形式を変えて今年も00名の聴講があり、各展ともたいへん好評だった。また、昨年か 東京博物館名誉館員、40回展に引き続き、 立から創造へ‐」と題して講演し、書家や関係者、一般の方約11 当会評議員の古谷稔氏が「日本の書‐美の確 41回展も全4会場で講演会を併催した。 国立

枚ずつ贈呈した。 作品と全出品者名簿を掲載)に、出品者本人の作品ブロマイドを2 た。また、40回展で制作した全作品掲載のDVDが閲覧しにくいと 不評だったため、今回は図録(現代書壇巨匠・現代書壇代表・委嘱 41回展の入場者数は40回展に比べ、直轄4展で1300名増加し

第41回「日本の書展」の各展報告は以下の通り。

西 展

関

平成25年5月30日(木)

後援 委嘱31点、招待386点、秀抜 代表76点 (計90点が全展を巡回)、 産経新聞社 関西展の出品数は、巨匠14点 文化庁 (公社)日本書芸院 (公財)全国書美術振興会・ 大阪国際会議場 今6月2日(日)



荒船清彦会長

尾崎邑鵬顧問

委員会・東海テレビ放送





榎倉香邨顧問

平成25年6月5日(火)

√6月9日(日)

○第1会場

中

部

展



る開催披露レセプションを行っ 合わせて約350名の出席によ の間」において、来賓、 を開催、その後同ホテル「光琳 ルホテル 催披露に先立ち、リーガロイヤ 金孝邦理事長、荒船清彦会長よ た。レセプションではまず、津 介記事の掲載協力を得ている。 7。今年も産経新聞紙面にて紹7場者数は約2800名を数え 会期初日の5月30日(木)、開 「桐の間」で記念講演会 出品者



大阪国際会議場

三重県・名古屋市・各県市教育 中日新聞社 平成25年6月4日(火) ○第2会場 (愛知芸術文化センター8階) 会場 愛知県美術館ギャラリー 文化庁・愛知県・岐阜県・ (公財)全国書美術振興会・ 名古屋市博物館 ~6月9日(日)

> 表の90点、委嘱14点、招待15中部展の出品数は、巨匠、代 回も2会場での開催となった。 市博物館を第2会場として、今 ギャラリーを第1会場、名古屋 協賛 (公社)中部日本書道会 名古屋で、今年も愛知県美術館 ひと足早い夏の陽気を迎えた

ともあることを改めて強く感じ

力は非常に素晴らしいもの。ま が伝わってくる。書の持つ表現 は伝えられない人の心の揺らぎ

た、その書が人の心を動かすこ

た」との挨拶があった。続いて

たとみられる。 あり、各協力の影響も大きか 中には東海テレビ放送の放映が 日新聞社の紙面紹介、また会期 昨年と比較し大幅に伸びた。中 会場を合わせて約5800名と 55点、会期中の入場者数は2 8点、秀抜選593点、合計8

海テレビ放送加藤昭宏事業局長

家代表挨拶があった。続いて東 て頑張ってもらいたい」との書

の乾杯の発声により、

品だった。来年もあの野心でもっ なさんの作品は野心に燃えた作 会場、作品について「今回のみ て樽本樹邨顧問からは、今展 との共催者挨拶があった。 書美術の振興のために努めたい_ からもみなさんと一緒になって

の乾杯の発声により祝宴に入っ 代表挨拶があり、尾崎邑鵬顧問 ネリはやめましょう」との書家 る。書も、手近なことも、マン に動いていった人は尊敬に値す 榎倉香邨顧問からは「新しい道

荒船会長から主催者代表挨拶、 命感を持ってやっている。これ めに役に立たなくてはという使 は「新聞社としてもこの地のた 中日新聞社小山勇常任顧問から レセプションでは、津金理事長、 開催披露レセプションを行った。 わせて約340名の出席による の間」において来賓、出品者合 その後同ホテル「ヴェルサイユ ロックの間」で記念講演会を、 日(水)、名古屋東急ホテル「バ 両会場の会期が揃った6月5



樽本樹邨顧問

東

京

展

平成25年6月13日(木)

√6月23日(日)



中日新聞社小山勇常任顧問



名古屋市博物館



愛知県美術館ギャラリー

後援 文化庁 共同通信社 (公財)全国書美術振興会・ 国立新美術館

つ意味を強く感じさせてくれる

挨拶があり、西日本新聞社蔵本 金理事長、荒船会長から主催者 た。レセプションではまず、津

間で約9700名だった。 最多となった。入場者数は10日 は1614点と直轄四展の中で 58点も同時に展示し、総展示数 関西展、中部展、九州展の委嘱 3点、秀抜選837点に加え、 表の9点、委嘱39点、 東京展の出品数は、 招待53

あった。続いて、後援をいただ 尚文代表取締役社長から挨拶が 席があった。レセプションでは、 出品者合わせて約500名の出 披露レセプションを行い、来賓、 隣の「平安の間」において開催 ることの自信や誇りが甦った。 ら来賓祝辞が、先立って行われ いている文化庁近藤誠一長官か 者挨拶、共催の共同通信社古智 津金理事長、荒船会長から主催 にて記念講演会を開催、続いて テルオークラ東京本館「曙の間」 書は単なる造形美術というだけ た講演会に触れて「日本人であ ではなく、書き遺した余白の持 会期初日の6月13日(木)、ホ

九

州

展

平成25年7月4日(火)

福岡アジア美術館



いる。

聞社の紙面で大きく取り上げて 200名だった。例年西日本新

近藤誠一文化庁長官

ル」において記念講演会、続い

る福岡アジア美術館「あじびホー

7月4日(火)、展覧会場であ

て隣接するホテルオークラ福岡

「平安の間」にて開催披露レセ

合わせて約100名の出席があっ プションを行い、来賓、出品者

共同通信社 古賀尚文代表取締役社長

の90点、委嘱12点、招待132

点、秀抜選207点、合計44

1点、会期中の入場者数は約2

杯の発声があり、祝宴に入った。 発信に努めたい」との挨拶と乾 今後も書をはじめ日本の文化の 務次官から、「外務省として、 その後、外務省河相周夫外務事 いるのではないか」とあった。 事にするということを表現して た目に見えないものの価値を大 ジは、日本が長く大事にしてき 芸術。余白に込められたメッセー 河相周夫外務事務次官



らは「書美術振興会が、国内に べた。続いて松清秀仙評議員か 動は重要なことだと思う」と述 る現状を踏まえた上での創作活 が新しく創始されて展開してい ら「中国の漢字から日本のかな あった。先の講演会に触れなが 村妙石参事より書家代表挨拶が 共催者挨拶があった。続いて師 泰慶執行役員企画事業局長から

おいては学校教育のこと、書の

九州展の出品数は、巨匠、代表 き、福岡アジア美術館での開催。 様に見舞われた。昨年に引き続 今年の九州展は初日から雨模 (公財)全国書美術振興会・ ~7月9日(日)

後援 文化庁 西日本新聞社

福岡アジア美術館



松清秀仙評議員



師村妙石参事



その中から480点が入選し、 今回も全国から約870点の応 要項は、「日本の書展」直轄展、 2回目の今回も前年同様、出品 選者に届けられ好評だった。 れた状態で、入選證と一緒に入 展示終了後、入選作品は表装さ 東京展の会場内に展示された。 国立新美術館の「日本の書展」 査員による厳正な審査が行われ、 募があった。14名の当会役員審 大学等に配布、設置。その結果、 国の表具店、美術館・博物館、 地方巡回展の会場をはじめ、全 も応募できる公募展を新設した。 開催を記念して、広く一般から 第40回「日本の書展」

け1月23日には審査会が予定さ 25年10月末で締め切られ、年明 れている。 次回、第42回展の応募は平成



公募臨書 会場

第41回

ださっている」との挨拶と発声

な目標を掲げて我々を導いてく

により乾杯し、祝宴に入った。

「日本の書展」巡回展

会場の順 開催地(主催新聞社)・会期・ 代表の全作品が、当会と共同 四展が終了後、現代書壇巨匠、 次の日程にて全9会場で開催。 特徴ある展覧会を開催している。 元の作家も出品し、各地それぞれ 化庁後援のもと全国を巡回。地 信社、地元各新聞社の共催、 第41回「日本の書展」巡回展は、 今年も「日本の書展」の直 文 通

平成25年6月13日(木)

国立新美術館

~6月23日(日

公募臨書(東京展会場内)

○松 島根県立美術館 平成25年8月22日~8月26日 富山県民会館 平成25年7月12日~7月15日 ○富山 〇字都宮 (下野新聞社) 江 (山陰中央新報社) (北日本新聞社)

福屋広島駅前店 平成25年9月26日~10月1 青森市民美術展示館 平成25年9月6日~9月10 ○青 森(東奥日報社) 宮インターパーク店 FKDショッピングモール宇都 平成25年8月29日~9月3日 ○広 島 (中国新聞社) \exists

〇岡 平成26年4月12日~4月17日 長野県信濃美術館 〇長 平成26年2月19日~2月23日 天満屋岡山店 6階葦川会館 平成25年10月16日~10月21日 平成26年3月7日~3月10日 奈良県文化会館 〇奈 良(奈良新聞社) 野(信濃毎日新聞社) 山(山陽新聞社) (茨城新聞社)

茨城県立県民文化センター

第41回 |日本の書―美の確立から創造へ― 「日本の書展」 記念講演会 講演要旨

東京国立博物館名誉館員 元大東文化大学教授 (公財)全国書美術振興会評議員

古谷 稔

(東京展) (中部展) (九州展)7月4日(木) (関西展) 6月13日(木) 6月5日(水) 5月30日(木)

福岡アジア美術館 あじびホール 名古屋東急ホテル バロックの間 ホテルオークラ東京 曙の間 リーガロイヤルホテル 桐の間

存するのをみてもわかります。

かな書法の萌芽 ―万葉がな―

漢字が文字のなかった日本に輸 漢語を表記する文字が漢字です。 があります。漢族の言語である

中国には数千年も前から文字

います。 ます。これを万葉がなとよんで なを交ぜて用いて書き表してい た音がな、和訓に基づいた訓が 訓のほかに、漢字の音に基づい 意味に基づいた読み方である正 した和歌集ですが、漢字本来の 『万葉集』は奈良時代に成立

三 日本漢字書法の確立 ―三筆の役割―

の中に位置付けられてきたのか。

に愛好され、「書」が伝統文化

「日本の書」の流れを再確認し

が部分的に見られます。 書法を予告するかのような筆致 たとえば「風信帖」には、かな の趣がにじみ出たものであり、 ながらも、それとは違った特有 遺品には、中国書法を骨格とし 献しています。かれらが残した なく、日本の漢字書法確立に貢 時代のように受け身の姿勢では 天皇を加えた「三筆」は、奈良 た空海、橘逸勢の二人に、嵯峨 中国大陸に遣唐使として渡っ

窺えます。四世紀の王羲之の書

盛んになった奈良時代に顕著に

は、遣唐使による国際交流が 漢字文化が日本に受容された

漢字文化の受容と中国書法

四、「和様」漢字書法の確立

てきます。このうち②は「草が

これとは別に王羲之の「楽毅論_

として王羲之書法が列挙され、

(正倉院宝物)に「書法二十巻_

あったことは「東大寺献物帳」 が、八世紀に奈良の都で人気が

を光明皇后が臨書した一巻が現

の詩文集『白氏文集』が中国書 三跡の能書によって唐の白居易 をはじめ藤原佐理・藤原行成ら、 その美意識は紫式部や清少納言 和歌集』の成立をみます。すな の文化が高まりを見せ、『古今 場するあたりから、次第に「和 書法は、男子の必須の教養とさ れ、それらの名筆は今日にも伝 によって再三にわたって揮毫さ 法でなく、見事な「和様」書法 揮されました。一方、小野道風 などの文学作品にも遺憾なく発 道に乗りますが、菅原道真が登 れた漢詩漢文の盛行とともに軌 わち「和」の美が高まりを見せ、 三筆によって確立された漢字

Ę. 「男手」と「女手」の競演

立し、創造性豊かな「書」を生

術性を高めて「日本の書」とし

に活用していったのか、また芸 に日本の文化に取り込み「書」 入されてから、それをどのよう

て中国書法に対抗できる美を確

れらは日本人によってどのよう み出してきたのか。そして、そ

め、一躍、万葉の愛好が高まっ 手〉のよみを加えて書写したた 短歌一首であったものを、さら り、それまでの『万葉集』では に同一の短歌にひらがな〈女 万葉がな(男手)だけで書した すことを命じました。これによ の編纂と『万葉集』によみを付 五年〈九五一〉、『後撰和歌集』 平安時代の村上天皇は、天暦 ―『万葉集』のかな古筆―

男手、②男手にもあらず女手に ⑤葦手など五種のかな書体が出 もあらず、③女手、④片仮名、 つほ物語』(国譲・上)に、① 六、かな書芸術の頂点 平安時代一〇世紀末頃の『う

限りを尽くした「書」も登場し たものです。「本願寺本三十六 紙」の三色紙はこの時代に成っ るかな古筆の名品「高野切」や 平安中期~末期であり、現存す な技法が発揮されたのは、この れています。かなの連綿や散ら 人家集」など、料紙工芸の美の し書きなどの、かな書法の高度 な」(万葉がなの草体)と見ら 「寸松庵色紙」「継色紙」「升色

性に富むものまで様々な世界を 漢字かな交じりの書で書き記し な成果です。絵巻の詞書、書状 本の書が伝統美を活かした大き 漢字とかなの融合、これこそ日 者にも心地よく伝わってきます。 の書の美がリズムに乗って見る が集団的に交互に登場し、和漢 れ、「書」としても漢字とかな 日本の漢詩および和歌が収録さ 歌集『和漢朗詠集』は、中国と 藤原公任によって編集された詩 れぞれ、個性的なものから時代 ており、その調和する趣は人そ (手紙) のたぐいは、日本語を 漢字とかなの交用と書の美 ―平安から鎌倉以後へ―

八、書の伝統美から創造へ

町時代に流派を重視した書があ あります。それらはいずれも書 画一体の美を生み出した作例も な屛風作品、あるいは画賛に書 長大な巻物や規模雄大な大字か 尹・松花堂昭乗)らが登場し、 永の三筆(本阿弥光悦・近衛信 ら江戸初期にかけて活躍した寛 も注目されます。ついで桃山か る一方で、破格法外の禅林墨蹟 の古典が基盤をなしています。 型」(流派)が生まれます。 「書」が美の頂点を極めると、

【おわりに】

緒豊かな書の美を創造し、現代 は日本の風土や国民性に根ざし と、中国大陸からの文化的影響 に至っています。 た独自性を盛り込みながら、情 を断続的にうけつつも、一方で 日本の書は、歴史を振り返る

用する今後の「書」の在り方だ をつなげる姿勢が、世界にも通 去・現在・未来と「日本の書」 の古典を無視することなく、過 伝統文化として容認される書



書写・書道教育に関する要望書」を提出

書写・書道教育に関する要望書

昨今のパソコン等を代表とす

文部科学大臣に要望書を提出し め、検討会を開き、本年6月に け毛筆書道教育の充実を図るた 書写書道教育の充実、とりわ

要望書」経過報告 「書写・書道教育に関する

①平成25年1月15日から全日本 期であることを確認し、 と課題」について検討会を始 とで「書写・書道教育の現状 書道連盟と全国書美術振興会 の検討会を開く のための要望書を提出する時 をあげて毛筆書道教育の充実 検討が始まる今こそ、書道界 める。次期の学習指導要領の 数回

②平成25年4月に要望書の文案、 6団体、賛同団体6団体を決 教育系書道団体を加えた発起 め、依頼状を出し、5月8日 に全ての団体から賛同が得ら

興会、 究会、全日本高等学校書道教 道連盟、 高等学校協議会 教育学会、全国大学書道学会 育研究会、全国大学書写書道 ■発起団体=(公社)全日本書 本書文化振興連盟、 |賛同団体=(一財)毎日書道 (公社)日本書芸院、全日 読売書法会、産經国際書 全日本書写書道教育研 (公財)全国書美術振 全国書道

> 津金理事長、全日本書道連盟 理事が出席し要望書を手渡し 要望書は文部科学省の担当官 た。中央教育審議会会長宛の からは樽本理事長と田中常務

盟からは石飛副理事長と田中 7月17日に青柳正規文化庁長 常務理事が出席。 と津金理事長、全日本書道連 書美術振興会からは荒船会長 官に要望書を手渡した。全国

今後の活動方針

望書の実現に向けて下記の活動 方針が協議された。 8月21日の常務理事会で、要

をつくり、事務局は全日本書 組織にマスコミを入れる。 とし、事業の総務・統括は全 道連盟に置いて実質実行機関 国書美術振興会が行う。また、 「書写・書道教育推進協議会 事業を推進する組織として



中央は下村博文文部科学大臣

勢が、長い歴史の中で培われた えるでしょう。一方で この趨 るIT文化の飛躍的な進化には 伝統や文化といった、民族各々 目を見張るものがあり、まさに 人類の英知が結実したものとい

らないと考えます。 の育成を重要視すべきであり、 国民、特に次世代を担う青少年 健全で確固たる国家観を有する 点から政治、経済、文化を通じ、 惧する声もあります。 無形の遺産に対する認識と理解 教育的措置が図られなければな を希薄にするのではないかと危 現在、日本でもこのような観

発展となり、日本文化の象徴的 国の文字文化であり、毛筆文化 担ってきたのが毛筆による我が きません。さらに、その表記を 界のどこにも例を見ることがで 形態と言語表記を有する国は世 する文化です。このような言語 等を自在に使用し、言語を表記 誇りうるものがあります。それ 存在といっても過言ではありま は単に表記のみならず、美への は漢字、仮名(平仮名、片仮名) こうした中、我が国には最も

れたり、毛筆書写することによ 教育には伝統的な言語文化に触 内容等が明記されています。そ 標が示され、達成のための指導 育については学習指導要領に目 の根幹をなす理念として、毛筆 さて、我が国の書写・書道教

③平成25年6月27日、下村博文

文部科学大臣に面会。全国書

美術振興会からは荒船会長と

うです。 着かせ、集中力を高める効果を います。さらには静かな環境で度を育成することが掲げられて もたらすということも事実のよ 筆を持つことによって心を落ち り文字文化を尊重し、親しむ態

望をいたします。 学校芸術科書道教育に関する要 育の一層の充実、ならびに高等 校国語科書写、特に毛筆書写教

が大切に保持継承してきた有形、

小学校においては、国語科

したがってここに、小、中学

徹底していただきたい。 られるよう各学校への指導を ど、毛筆が授業で確実に教え り立ちや筆順に触れることな 学年から取り上げ、文字の成 硬筆の基礎となる毛筆を第 書写教育の一層の充実および

一、中学校においては、国語科 を通じて、我が国の言語文化 をするよう各学校へ強く指導 の豊かさに触れるような実践 わけ毛筆による書写の学習等 していただくとともに、とり ならびに時間数を確実に実施 学習指導要領に示された内容 書写教育の一層の充実および していただきたい。

三、高等学校においては、書道 教育の一層の充実および我が ていただきたい。 点から各都道府県教育委員会 道教育の一層の充実という観 目の増単位を要望するととも 点に立って、芸術科書道の科 国の伝統文化の尊重という視 に書道教員の採用拡充を求め に、生涯学習社会における書

産経国際書会

公益社団法人日本書芸院

び教員養成大学学部での指導等 み、現場への具体的な支援およ 行われていない現状等にかんが において毛筆の書写教育が十分 自信が持てず、小学校、中学校 が基礎的な書写技能や指導法に の授業にあたり、担当する教員 たく存じます。 についても格段のご高配を賜り なお教育現場の中では、毛筆

平成二十五年五月十五日

公益財団法人全国書美術振興会 公益社団法人全日本書道連盟 会長 理事長 樽本 樹邨 津金 孝邦 荒船 清彦

全日本書写書道教育研究会 全日本高等学校書道教育研究会 理事長 会長 理事長 長野 秀章 瀧 小林 典彦 俊朗

全国大学書写書道教育学会

理事長

宮澤

正明

全国大学書道学会 理事長 平形 精

読売書法会 列記いたします。 その他の書道関係団体を以下に 般財団法人毎日書道会 なお、この要望書に賛同する

文部科学大臣 全国書道高等学校協議会 全日本書文化振興連盟

下 村博文

書道国会議員連盟 設立総会が開かれる

他の役員は会長一任となった。 名の国会議員が超党派で参加を 当日の設立総会は関芳弘氏の司 盟」の設立総会が開かれた。発 会長には河村建夫氏が選出され、 表明していることが紹介された。 会で進められ、この連盟には44 佐藤英道氏が名を連ねている。 自章宏、 塩谷立、 玄葉光一郎、 起人には河村建夫、中谷元、大 三原朝彦、中川正春、関芳弘、 一議員会館で「書道国会議員連 平成25年11月27日、 衆議院第

容の設立趣意書が承認されてい 尽力し、その普及発展に貢献す を愛するすべての人達の育成に 育の一層の充実、高等学校芸術 ることを目的とする」という内 科書道教育の充実、さらには書 小、中学校国語科の毛筆書写教 のではないかと心配されている。 技術が徐々に希薄になっていく の発展に伴い、その書写能力や してきたが、昨今のIT分野等 本の伝統文化として長い間発展 「書道は世界に最も誇れる日

長ら4名が出席した。代表して 強い限りだ。日本の書道の普及、 書道に関係する団体にとって力 の設立をお祝い申し上げる。我々 荒船会長が「書道国会議員連盟 益社団法人全日本書道連盟の樽 長、津金孝邦理事長ら6名と公 本樹邨理事長、石飛博光副理事 書道界から当会の荒船清彦会

> 支援を賜りたい」と祝辞を述べ 向けての要望事項が実現される ている書写・書道教育の充実に 振興のために、また、我々が行っ ように、議員連盟の先生方のご



展覧会案内

第42回「日本の書展」 関 西

主催

公益財団法人全国書美術

振興会•中日新聞社

平成26年5月29日(木) ~6月1日(日)

午後4時閉館] 午前10時~午後5時 大阪国際会議場(3階イベント [最終日は

後援 文化庁 (予定) 振興会·産経新聞社 主催 公益財団法人全国書美術

> 協賛 公益社団法人日本書芸院

午後12時30分~ 平成26年5月29日 リーガロイヤルホテル ○開催披露 (未

中 部 展

〈第1会場

平成26年6月4日(水) 委嘱・招待・秀抜選(一部) 現代書壇巨匠 • 現代書壇代表 •

30分前まで は午後8時閉館、最終日は午後 午前10時~午後6時 [6日(金) 芸術文化センター8階) 愛知県美術館ギャラリー 4時閉館、入館は各日とも閉館 〈第2会場 ~6月8日(日) (愛知

午前9時30分~午後5時 [最終 とも閉館30分前まで] 日は午後3時閉館、入場は各日 名古屋市博物館(3階ギャラリー) ~6月8日(日)

平成26年6月3日(火)

協賛 委員会・東海テレビ放送(予定) 三重県・名古屋市・各県市教育 後援 文化庁・愛知県・岐阜県・ 公益社団法人中部日本書

名古屋東急ホテル 午後6時~ 平成26年6月4日 ○開催披露 (水)

東京展

東京展 B • 1 C • 1 D 日(日)〈17日(火) は休館日〉 公募臨書

平成25年

古久保泰石先生(参事)

謹んで哀悼の意を表します。

次の先生方が逝去されました。

後援 ○開催披露 振興会·共同通信社 文化庁(予定

平成26年6月12日 ホテルオークラ東京 午後12時30分~

九 州

平成26年7月10日(木)

振興会·西日本新聞社 とも閉館30分前まで] 午後5時30分閉館、入館は各日 午前10時~午後8時 [最終日は ラリー/8階交流ギャラリー) 後援 文化庁 (予定) 福岡アジア美術館(7階企画ギャ 公益財団法人全国書美術 ~7月15日(火)

ホテルオークラ福岡 午後6時~ 平成26年7月10日 ○開催披露 (木)

あります。 ※開催情報は変更となる場合が

公募臨書 近年物故者

主催 後5時30分まで] 午前10時~午後6時 [入館は午 国立新美術館(展示室1A・1 平成26年6月12日(木)~6月22 公益財団法人全国書美術

(木) 本館

書美術功労者の顕彰

田岡正堂先生(参事)

4月1日 56歳

7 月 29 日

79 歳

伊織蘇峰先生(参事)

2月5日 92歳

受章された高木聖鶴先生の功労 を顕彰し、記念品を贈呈した。 茂圭洞先生、並びに文化勲章を 日本芸術院会員になられた井

あとがき

要望書」を文部科学大臣に手渡し 今年は「書写・書道教育に関する 関係各位のご指導とご協力で実現 うべきことでした。書家の先生方、 書の普及、振興を目標に、書のす することができました。感謝申し そ野を広げるためにはぜひとも行 の本展以外にも多事ありました。 ンで開催したりと、「日本の書展 たり、9年ぶりの海外展をスペイ (坂本)

事務所のご案内

ル6階 東京都港区赤坂2-11-1宮原ビ T107-0052

ホームページ http://shobi.or.jp/ ールアドレス info@shobi.or.jp 03 - 3568 -03 - 3568 - 2072 $\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 7 \\ 1 \end{array}$